

有害プランクトン情報

(令和6年度 - No. 7)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によって、魚類の死亡や二枚貝の毒化を引き起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日	沖合	10月 第1回	内湾(8地点)	10/11	内房(7地点)	10/7
		10月 第2回	内湾(8地点)	10/22	内房(7地点)	10/24
	貝類漁場内	富津地区	10/7	木更津北部地区	10/8	千葉北部地区 10/31

東京湾(内湾)

【有害プランクトンの出現状況】

- 9/30 に発出したカレニア属に関する注意報(R6 No.1-1)は、10/7、11 の調査で注意を必要とする基準を下回っていたため、10/21 に警報を解除しました。
 - ・10/11 (沖合漁場) 船橋, アクア南, 盤洲南, 富津 最高密度は富津の 1.10 細胞/mL
- 赤潮(透明度 1.5m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上, クロロフィル a 50 μ g/L 以上) はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 沖合漁場および貝類漁場内でディノフィシス アキュミナータが確認されました。10/22 の沖合漁場の船橋で高い密度でした。
 - ・10/7 (貝類漁場) 富津地区 密度 0.10 細胞/mL
 - ・10/8 (貝類漁場) 木更津北部地区 密度 0.05 細胞/mL
 - ・10/11 (沖合漁場) 内湾全域 最高密度は船橋の 1.60 細胞/mL
 - ・10/22 (沖合漁場) 内湾全域 最高密度は船橋の 16.35 細胞/mL
 - ・10/31 (貝類漁場) 千葉北部地区 密度 3.40 細胞/mL
 - 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・10/7 (貝類漁場) 富津地区 密度 0.05 細胞/mL
 - ・10/11 (沖合漁場) アクア南, 盤洲北, 盤洲南, 富津 最高密度は盤洲北の 0.35 細胞/mL
 - ・10/22 (沖合漁場) 羽田沖, アクア北, 盤洲北, 盤洲南 最高密度は盤洲北の 0.50 細胞/mL
 - ・10/31 (貝類漁場) 千葉北部地区 密度 0.05 細胞/mL
 - 沖合漁場でディノフィシス コウダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・10/11 (沖合漁場) 羽田沖, アクア南, 盤洲南, 富津 最高密度はアクア南, 富津の 0.20 細胞/mL
 - ・10/22 (沖合漁場) 船橋を除く内湾全域 最高密度は盤洲北の 1.10 細胞/mL
- 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)

【有害プランクトンの出現状況】

- 9/30 に発出したカレニア属に関する注意報(R6 No.1-1)は、10/7、11 の調査で注意を必要とする基準を下回っていたため、10/21 に警報を解除しました。
 - ・10/7 (沖合漁場) 富津南, 大貫, 浦賀水道, 保田 最高密度は浦賀水道の 4.55 細胞/mL
- 赤潮はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。

- ・10/7 (沖合漁場) 保田, 富浦を除く内房海域全域 最高密度は大貫の 1.00 細胞/mL

- ・10/24 (沖合漁場) 富津南, 大貫, 浦賀水道 最高密度は富津南の 0.35 細胞/mL

- 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。

- ・10/7 (沖合漁場) 富津南 密度は 0.05 細胞/mL

- ・10/24 (沖合漁場) 富津南 密度は 0.05 細胞/mL

- 沖合漁場でディノフィシス コウダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。

- ・10/7 (沖合漁場) 富津南, 大貫, 富浦 最高密度は富津南の 0.10 細胞/mL

- ・10/24 (沖合漁場) 富津南, 大貫, 浦賀水道 最高密度は富津南の 0.25 細胞/mL

3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

10/7	内房海域	珪藻 シュードニッチア属
10/11	内湾	珪藻 シュードニッチア属
10/22	内湾	渦鞭毛藻 ディノフィシス アキュミナータ, 珪藻 スケルトネマ属, タラシオシラ属
10/24	内房海域	珪藻 タラシオシラ属



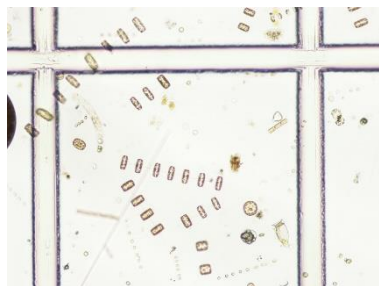
シュードニッチア属, カレニア ミキモトイなど

(10/7 浦賀水道)



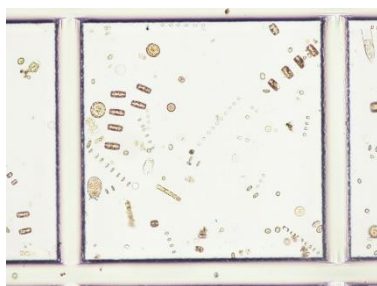
シュードニッチア属など

(10/11 千葉灯標)



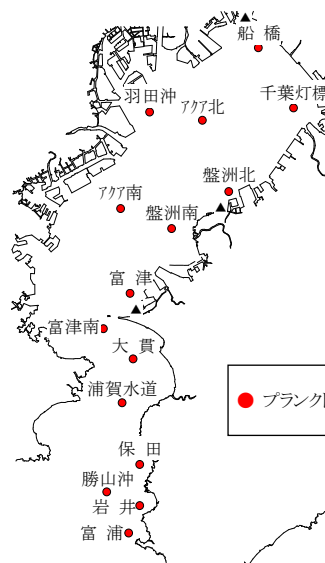
スケルトネマ属, タラシオシラ属など

(10/22 アクア北)



ディノフィシス アキュナータ, タラシオシラ属など

(10/22 船橋)



● プランクトン調査点

調査点 (沖合漁場)

連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp